

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
1	手賀地区社会福祉協議会	浅海 實 委員	無	<p><啓発事業への感謝> = 提案し実行された事</p> <p>1)マグネットポディーパネルの掲出 公用車及び清掃車 (440枚)</p> <p>2)近隣センターへののぼり旗の掲出</p>		
2	田中地区社会福祉協議会	岡田 慶子 委員	有	<p>新型コロナウイルス感染症は、私達の生活を一変させてしまいました。人との接触を避け外出の自粛を続ける中、聞こえてくるのは高齢者の認知機能と体力の低下、高齢者に限らず気力の低下。</p> <p>地域でのサロン活動も再開に向けて少しずつ動き始めている今、現状をしっかりと把握する必要があると思います。その中で新たな課題も見えてくるかもしれません。</p> <p>しかし、まだ多くの方がボランティア活動の再開や通いの場への参加に不安を感じているようです。</p> <p>『フレイル予防ポイント制度』の導入。地域によって受け止め方が様々だと思いますが、田中地区内の高齢者サロンでは、とても好評とは言えません。</p> <p>ポイントを貯める為の機械が、各サロンに無いのでそのたびに借りに行く手間や貯まったポイントを使うまでの手間が負担になる等、使い勝手の悪さに、導入には消極的。もったいないです。</p> <p>利用可能な年齢を歳以上とした事は評価できるものの、持っているお得感はなく、もう一工夫検討して頂きたいと思っています。</p> <p>新しい制度の今後に、期待しています。</p>	地域包括支援課	<p>ポイント付与端末に関しましては、機器の台数に限りがあるため現在は、週に1回以上の活動をしている団体には、年間を通して貸し出していますが、活動回数の少ない団体には、地域包括支援センターで借りていただいております。また、事業に関する工夫につきましては、皆さまからのご意見を取り入れながら、より良いものになるよう今後努めてまいります。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
3	柏西口第2地域包括支援センター	小野田 光 芳 委員	有	<p><フレイル予防ポイントについての意見></p> <p>○効果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションは上がるから良いと思う（取り組む方が増えると思う） <p>○カードの入手方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カード発行の場所が限られているため、遠方となる方はカードの入手がしにくい。 <p>○ポイントの入手する機会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何がポイント付与される事業なのか？また付与対象の講座やサロンがいつどこで運営されているのかなどが分かりにくい。 <p>○ポイントの利用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの利用方法が分かりにくい <p>○活性化にむけて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンや町会の体操教室などの身近なところでの立ち上げ支援をして、フレイル予防ポイントを増やせる場所を多くして活動を活性化させる。 <p>○フレイルポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組みが複雑で、実際どれぐらいのポイントを得ているか分かりにくい。 	地域包括支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・カードの入手方法につきましては、郵便での申請ができるよう現在準備をしています。 ・事業に関する運用や工夫につきましては、皆さまからのご意見を取り入れながら、より良いものになるよう今後努めてまいります。
4	柏市社会福祉協議会	関 根 光 輝 委員	有	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のなか、従来の活動は中止或いは縮小を余儀なくされていますが、地域の繋がりを目的としたフレイル予防活動の更なる必要性を感じています。そのため創意工夫した地域活動、事例紹介や情報提供を行うことで、停滞することのない活動が必要です。 ・フレイル予防ポイント制度の普及啓発のため、市民団体の利便性を考慮した場所、特に各近隣センターへの端末の設置及び貸し出しを検討していただきたい。 	地域包括支援課	<p>近隣センター等、その他の公共施設も含めて、ポイント付与端末を配置できるかどうか、関係部署と調整し、検討をしてまいります。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
5	柏市在宅リハビリテーション連絡会	西田 恭子 委員	有	<p>(1) 新型コロナの影響について</p> <p>① 市民及び市民活動への影響 高齢者の活動量は3割程度減少していると言われております。柏市の状況を教えてください。</p> <p>② 今後の方針 サロン等の市民活動の再開などが難しいと聞いています。フレイル予防のための今後の方針を教えてください。</p> <p>(2) フレイルリスク者対応について</p> <p>① 中・高リスク者の定義 今年度のフレイルチェックはイレブンチェックのみとなりました。これまで、フレイルチェックからの抽出基準は定められていましたが、今年度は、フルスペックのフレイルチェックが行えません。フルスペックに戻るまでの間の、中・高リスク者の抽出はどのように決められるのでしょうか。また、今年から始まりました「後期高齢者の質問票」でもフレイル状態のチェックが行われていますが、質問票によるリスク者の捉え方や質問票の活用方法についても教えていただきたいと思っております。</p> <p>② 今年度の高リスク者対応の具体策 資料4（地域包括支援課）の「フレイルチェック講座後のハイリスク者への専門職による支援」について、具体策を教えてください。</p> <p>③ 今後の中・高リスク者対応の計画 コロナ禍で、対応は流動的になると心得ておりますが、今後の対応につきまして方向性をお示しいただきたいと思っております。また、早期発見・早期対応のためには、中リスク者対応も重要であると考えます。こちらについても対応策をお示しいただければと存じます。</p>	地域包括支援課	<p>(1)-① フレイルチェックの結果、昨年と比べて外出の回数が減っていると回答されたかたは増えております。</p> <p>(1)-② 感染状況を見ながら、社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携し、サロン再開に向けて、活動団体に対し、活動内容の提案や現在活動しているサロンの情報共有を継続すること、紙面やオンラインによる情報の提供ができるような体制づくりも今後進めてまいります。</p> <p>(2)-① フレイルチェック受講者におけるハイリスク者の基準について、今年度は原則「簡易チェックで赤シール5個以上」としてあります。「後期高齢者の質問票」の活用については、ハイリスク者支援の際の追加のアセスメントとして実施する他、地域包括支援センターが実施する相談支援において、フレイルのリスクが高いと見込まれるかたに随時質問票を実施し、結果に応じて専門職の支援につなげることをしています。</p> <p>(2)-② 今年度は「フレイル予防応援プログラム」として専門職によるハイリスク者への支援を行っています。プログラムの流れとしては、最初に地域包括支援センター職員がフレイルチェックの結果等をもとに、希望者への初回面談を実施し、フレイル予防のためのアクションプランを本人とともに作成します。プランの内容に応じ、約3か月の期間内に、具体的な支援を各専門職（リハビリ職、管理栄養士、歯科衛生士）が最大2回まで実施します。専門職の支援終了後に、再度地域包括支援センターの担当者が面談を行い、対象者の状況に応じ地域の社会参加の場やサービス等につないでいきます。</p> <p>(2)-③ ハイリスク者への支援については、今年度の実施状況を評価し、次年度も継続的に取り組んでまいります。中リスク者への対応については、現時点では明確な基準を設定していません。フレイルチェックの測定再開状況やハイリスク者の基準見直しの状況を踏まえ、中リスク者の基準設定、対応について検討してまいります。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
5	柏市在宅リハビリテーション連絡会	西田 恭子 委員	有	<p>(3) フレイル予防ポイントについて</p> <p>① ポイントカードの普及方法及び目標枚数について 機会がある毎に、市民の方にお話をしておりますが、カードの存在を知らない方も多いように感じます。現在の普及方法や目標枚数に関して教えていただきたいと思ひます。</p> <p>② ポイントを付与する末端の貸出予定数 ロコモ自主グループを実施している所から、地域包括支援センターまで毎回取りに行くのが大変であるとの声がありました。今後、どの程度末端の機械を配置する予定なのか、あるいは、より使いやすくするための計画があれば教えていただきたいと思ひます。</p> <p>③ ポイントを付与する側の団体の登録方法について 団体が登録する場合の方法や条件などは、どのように周知されているのか教えていただきたいです。</p> <p><ご提案> リハ連会員が対応可能なこと ・高リスク者対応：短期集中の個別対応（運動機能向上のみならず、活動への意欲向上なども支援） ・中リスク者対応：グループに対する対応（地域活動に安全に参加するための橋渡しとして） ・医療と福祉の橋渡し ・支援者への支援（安心して支援活動を行うための支援） ・活動しやすい環境設定等への助言 など 柏市総合特区における訪問リハ事業所を中心に、柏市のフレイル予防を支援する準備を整えております。</p>	地域包括支援課	<p>(3)-① 令和2年度は、2,000枚のカード発行を目標にホームページや広報への掲載、臨時の発行窓口の設置等により周知を行っております。</p> <p>(3)-② ポイント付与端末につきましては、市内の公共施設等に配置できるかどうか、現在調整をしております。事業に関する運用や工夫につきましては、皆さまからのご意見を取り入れながら、より良いものになるよう今後努めてまいります。</p> <p>(3)-③ 活動登録する場合は、新たな参加者の受け入れが可能で柏市ホームページに活動情報を掲載できること、また、ボランティア活動として登録する場合は、新たな参加者の受け入れが可能で柏市ホームページに活動情報を掲載できること、と併せて、金銭の受領（謝礼・交通費など）が無いことを条件にポイント付与対象事業として登録することができます。ポイント付与対象事業として登録を希望される場合は、かしわフレイル予防ポイント付与事業登録申請書と活動内容の詳細を地域包括支援課に提出いただいております。事業登録に関しては柏市のホームページでご案内しております。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
5	柏市在宅リハビリテーション連絡会	西田 恭子 委員	有	<p><情報提供></p> <p>『こうしねっと』活動始動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏市のロコモ自主グループや柏市の出前講座、あるいは社協の介護予防講座の講師を務めるインストラクターの有志の方々が、ネットワークを作り活動を開始されています。 ・リハ連としては、インストラクターの方々が安全に安心して活動できるように、講師を務めるなどの支援をしております。 ・協業して市民向けの資料作成を計画中です。 		
6	柏市薬剤師会	齊藤 泉 委員	無	<p>学生への配布は家族への理解を促しとてもいい考えかと思います。</p>		
7	かしわフレイル予防サポーター連絡会	中村 禎宏 委員	有	<p>9月7日（月）本日フレイル予防サロンを再開。コロナ対策で短時間、少人数のミニサロンでスタートしました。</p> <p>天候も悪く参加者は7人でしたが、皆さんフレイル予防に関心持っていただいたと思っております。</p> <p>当面このスタイルでミニサロンを行い、フレイル予防対策と認知度アップに努めていきます。</p> <p>又、スタッフとして参加できないサポーターの皆さん（80数名）対策で9月17日に「フレイル予防の献立作りにチャレンジ」講座をほのぼのプラザますおで企画いただき実施いたします。今後はそれ以外にもサポーター用に講座を予定してサポーターの皆さんのフレイル予防にも努めていきます。</p>		

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
8	柏市スポーツ推進委員協議会	八文字 勇 委員	有	<p>1. スポーツ課が主催する「大人の体力テスト（改称前：体力年齢診断）」は、市民の体力への意識を高め、スポーツ実施への動機付け及び心身の充実を図る事になる。結果、フレイル予防にも繋がることなので、参加者を増やすことは極めて重要であると考えます。「広報かしわ」による周知も必要ですが、知人の紹介や口コミによる人集めは、極めて効果が大きいため、プロジェクト2025推進委員会に関わるそれぞれの組織内への参加呼びかけを、一層進めて欲しいと思います。…ここからも、フレイル予防の輪が広がっていったらと思います。</p> <p>2. フレイル予防の概念の下、より早期からの「三位一体」に取り組む事が必要であることを理解して頂く事が、何よりも重要であることは言うまでもありませんが、周知方法の1つとして、地域のリーダーである各町会長を集めて（講話の場を設け）理解を求め、それぞれの町民のフレイル予防啓発に取り組んでもらう（フレイル予防サポーターの招致など）ことが必要ではないでしょうか。…地道に幅広く、周知活動に注力して頂きたいと思います。</p> <p>3. <参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内回覧板システムを活用した、全世帯へのチラシ配布による周知方法も検討頂きたい。 ・人が、たくさん集まるイベント会場での「フレイル予防」のPRも必要。 	福祉政策課	<p>1. 柏フレイル予防プロジェクト2025の資料に大人の体力テスト（改称前：体力年齢診断）の周知について追加する方向で検討します。また、参加された方に、フレイル予防ポイントが付与できる対象事業としていく予定です。</p> <p>2. 町会長会議など、町会長の集まる場でフレイル予防についての資料配付が出来るか検討します。</p> <p>3. 回覧板システムを活用したチラシ配付については、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、対象が限定されている状況ではございますが、他の媒体も含めて更なる周知啓発について検討します。</p> <p>イベント会場でのフレイル予防のPRについては、今後スポーツ課関連事業（新春マラソンなど）と連携してPRを行うなど、調整を進めていく予定です。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
9	柏の葉ウォーキングクラブ	柳田秀雄委員	有	<p>柏の葉ウォーキングクラブ行事参加をフレイル予防ポイント対象に。</p> <p>会員124名（20.9.1）柏市在住80名65%。ボランティア幹事15名。</p> <p>ウォーキング教室、ポール&ノルディック教室、柏の葉健康コース12コース、月例会、柏の葉公園ウォーキングフェスタ等約64回の行事を行い、ウォーキングの基本から楽しみ方まで健康づくり活動を行っています。運動の習慣化は継続することが難しく数多い行事の参加を通じて、仲間を作り楽しくウォーキングによる健康づくりを通じて「健康はウォーキングする人への贈り物」「楽しくなければ長続きしない」を意識し2007年6月より活動しています。</p> <p>他市では歩数計と体組成計を公民館に設置し、日常歩数を含め登録し、健康ポイントを付与しているところもあります。ボランティア幹事の参加促進と、かしわんぼで活動を確認し対象の検討をお願いします。</p>	地域包括支援課	登録申請について別途調整させていただきます。
10	柏市民生委員児童委員協議会	山名恵子委員	無			
11	柏市民健康づくり推進員連絡協議会	山本悦子委員	有	<p>フレイル予防はもっと世代を広げるべきだと感じます。</p> <p>若い世代から継続的に認知を広げ運動や地域との関わりを持たないと年を取ってからでは、できません。</p> <p>スポーツ課との連携はとても良い取り組みだと思います。</p> <p>SNS, ITをもっと活用していくことを提案します。</p>	福祉政策課	<p>スポーツ課との連携については、今後連携事業を拡大させながらフレイル予防のPRに努めていく予定です。</p> <p>SNS, ITの活用については媒体や方法について検討します。</p>

令和2年度第1回 柏フレイル予防プロジェクト2025 各委員等からの御意見・御提案及び回答

番号	所属	委員等名	御意見・御提案の有無	御意見・御提案内容	回答課	回答
12	東京大学高齢社会総合研究機構	辻 哲夫 アドバイザー	有	<p>○フレイル予防につき、認知度が着実に高まり、ポイント制を導入されたり、ハイリスク高齢者へのアプローチを試みるなどの様々な実績を評価したいと思います。</p> <p>○その上で、更にお願ひしたいのは、フレイル予防サポーターを通じた普及啓発の推進です。</p> <p>フレイル予防対策における大きな特徴は、フレイル予防サポーターというフレイルにつき、よく学び強い問題意識を持ったボランティアの存在だと思います。</p> <p>この方々が、最前線に立って活躍される環境づくりを市役所が仕掛けていくことが重要です。もちろん新型コロナの問題がありますので、様々な配慮が必要ですが、</p> <p>① フレイル予防の普及啓発についてのフレイルサポーターの意見交換会等を通じた意見の市役所による吸い上げとフレイル予防サポーターのまとまりの強化</p> <p>② 市役所が音頭をとって、ふるさと協議会や社協や地域包括センター、更には様々な地域団体活動とも連携し、フレイル予防サポーターが参加した簡単な啓発イベントを各地域の催しや各町内会等の集りに差し込んでいく工夫</p> <p>③ 市役所からフレイル予防サポーターの集りに対して、閉じこもりがちな在宅高齢者へのスマホを使ったオンラインや電話でのフレイル予防サポーターからの働きかけが行えないかを提案する</p> <p>等の取り組みを計画的に行うなど、市民に対するフレイルの知識の普及だけでなく、フレイル予防サポーターの意気込みが口コミでじわじわと地域社会に伝わるような戦略的な企画ができないのでしょうか。</p> <p>○配布資料にもフレイル予防サポーターによる普及啓発に関するスライド等が掲げられており、既に取り組んだり検討されているかもしれませんが、以上はあくまでも参考意見です。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	地域包括支援課	<p>新型コロナの感染拡大によりフレイルチェックの開催や内容が制限される中、フレイル予防サポーターがフレイルチェック以外のフレイル予防の普及啓発に取り組めるような働きかけが必要と認識しております。サポーターの全体会等を通して、コロナ禍でのフレイル予防活動の重要性についての共通認識を図るとともに、サポーター自身がフレイルにならないためのサポーター向けフレイル予防講座の実施や、エリア別にフレイル予防活動についての話し合いの機会を設けるなど、対応を検討し実施してまいります。</p>